

## 《あらすじ》

### 一、『棒しばり』 長唄囃子連中

次郎冠者と太郎冠者は無類の酒好き。ある日、主人の曾根松兵衛は外出中に酒を盗み飲まれないよう一計を案じ、次郎冠者の両手を棒に、太郎冠者を後ろ手に縛りつけて外出します。飲めぬとわかるとますます酒が飲みたい二人は、協力して酒を酌み交わし始めます。そうして二人がほろ酔い気分です踊り出したところへ、松兵衛が帰ってきて…。

狂言を題材とした、おかしみにあふれる松羽目物の舞踊。両手が使えず、自由が利かないなかでも存分に踊って見せるところがみどころです。明るい雰囲気の中、巧みな技がふんだんに盛り込まれた舞台をお楽しみ下さい。